



こんなに暮らしが大変なときに

市が国保税値上げ計画

野洲市が試算している値上げ案

	現行	改定	値上げ
所得割	6.1%	7.3%	+ 1.2%
資産割	40%	廃止	
均等割	27000	29600	+ 2600
平等割	22000	24100	+ 2100

県下26市町で7番目に高い野洲市の国保税です。そのよ、今回の値上げ計画。これでは命も健康、暮らしも守れません。

新年度より国民健康保険の値上げが計画されていることが明らかになりました。市では、「改正案は試算。再度税率を精査し、3月議会に提案したい」としています。「試算」では、資産割は廃止されませんが、所得割、均等・平等割を引き上げる計画です。

「改正」(値上げ)の理由については、「後期高齢者医療への負担」もあり、「国保家計へ基金補填も不可能」。このままでは、「国保会計に不足が生じるため」としています。

しかし、野洲市の国保税は県下26市町のなかで、7番目に高いものとなっています。このような、高い国保税の結果、「払いたくても払えない」世帯が増加しています。

しかも、野洲市ではこれらの世帯には保険証を發行せず、窓口で医療費を全額負担しなければなりません。命や健康が脅かされています。保険証取り上げは、栗東市について野洲市が多く、異常な事態です。

国民健康保険制度は、市民の命と健康、暮らしを守る社会保障制度です。支払い限度を超えている高い国保税の値上げは許されません。

県下(26市町)で7番目に高い野洲市の国保税 (2007年9月調査)

順位	国保加入世帯数 (総世帯比)%	滞納世帯数 (国保世帯比)%	資格証明書世帯 (国保世帯比)%	1人当り国保税(円)
1	余呉町 71.2	彦根市 18.7	栗東市 3.61	草津市 91,135
2	木之本町 68.2	湖南市 16.2	野洲市 2.23	大津市 80,986
3	虎姫町 66.7	大津市 16.0	近江八幡市 1.96	守山市 80,172
4	甲良町 65.9	長浜市 15.1	甲良町 1.93	近江八幡市 80,124
5	西浅井町 63.8	近江八幡市 14.6	豊郷町 1.52	栗東市 80,027
6	多賀町 59.6	甲賀市 14.4	安土町 1.37	湖北町 79,639
7	米原市 59.1	草津市 14.2	湖北町 0.91	野洲市 75,847
8	湖北町 56.7	栗東市 14.0	彦根市 0.89	湖南市 74,168
9	高島市 55.1	愛荘町 13.6	甲賀市 0.89	高月町 74,040
10	高月町 54.6	守山市 12.0	湖南市 0.72	竜王町 73,995
11	豊郷町 53.9	高島市 11.3	草津市 0.61	彦根市 71,671
12	安土町 53.1	高月町 11.0	東近江市 0.53	東近江市 69,817
13	日野町 51.3	竜王町 10.3	守山市 0.53	長浜市 67,742
14	甲賀市 49.0	東近江市 9.3	長浜市 0.53	米原市 67,724
15	愛荘町 49.0	日野町 8.9	多賀町 0.32	甲賀市 65,203
16	長浜市 48.8	野洲市 8.8	米原市 0.25	西浅井町 63,582
17	東近江市 47.5	豊郷町 8.8	日野町 0.13	多賀町 63,445
18	近江八幡市 47.2	安土町 8.7	大津市 0.04	木之本町 62,987
19	大津市 44.5	木之本町 8.7	高島市 0.00	甲良町 61,085
20	彦根市 44.4	米原市 5.1	竜王町 0.00	安土町 59,818
21	野洲市 42.6	虎姫町 7.7	愛荘町 0.00	余呉町 59,547
22	守山市 41.3	甲良町 6.2	虎姫町 0.00	日野町 57,410
23	栗東市 40.3	西浅井町 5.1	高月町 0.00	豊郷町 56,791
24	湖南市 40.2	多賀町 4.1	木之本町 0.00	愛荘町 56,788
25	竜王町 33.8	湖北町 2.9	余呉町 0.00	高島市 53,684
26	草津市 33.4	余呉町 0.9	西浅井町 0.00	虎姫町 53,103
	平均 45.2	平均 13.5	平均 0.67	平均 68,482

12月議会 豊政会(自民党)や公明党が

高齢者(70~74歳)の医療費「1割を2割負担」に賛成

12月定例会市議会には、70~74歳の高齢者に対して、医療費負担を現在の1割から2割に引き上げる条例改正が提案されました。高齢者の「医療排除」を目的とする大改悪です。

改正案は市議会で、豊政会(自民)や公明党、市民ねっとは、「保険制度の安定継続のため、あるべき姿へと改正された」として賛成しました。

自民・公明内閣は、「構造改革」「社会保障抑制」路線で、医療制度の大改悪を進めてきました。とりわけ、高齢者医療の改悪と負担強化を進めています。このような負担と犠牲、命をも脅かす、国保条例の改悪は許されません。

市民負担を強化する議案の態度

12月議会

○=賛成 ●=反対

	小菅六雄(共)	野並享子(共)	三和郁子(市)	川口東洋(市)	鈴木市朗(市)	西本俊吉(ネ)	本田章紘(ネ)	矢野隆行(公)	梶山幾世(公)	内田聡史(豊)	奥村治男(豊)	藤村洋一(豊)	田中良隆(豊)	藤下茂昭(豊)	中島一雄(豊)	田中孝嗣(豊)	中田幸子(豊)	小島進(豊)	原田薫(豊)	田中崇徳(豊)	荒川泰宏(豊)	河野司(豊)	秦真治(豊)	林克(豊)	
70~74歳の高齢者の医療費負担を現在の1割から2割負担に値上げ																									議長
学童保育所の保育料を一律(全学年)9000円にして、別途、おやつ代が1500円。事実上の値上げ																									
住民票発行など各種手数料を、現在の200円から300円に値上げ																									

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2008年2月3日 138

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184

(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102

(メール) no73kvo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~nonami/